



# NEWS LETTER

No.23  
2018

7月2日(月)

## 男女共同参画セミナー 「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」～キックオフ・セミナー～

今回の男女共同参画セミナーは、「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」設置のキックオフ・セミナーと位置付けて、7月2日(月)に小白川キャンパスで次のとおり開催しました。参加者51名のうち、県立栄養大学学長、県立産業技術短期大学校長はじめ、県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北文教大学・短期大学部、羽陽学園短期大学、鶴岡工業高等専門学校、県立農林大学校、県学事文書課から委員13名が初めて参加し、記念すべきセミナーとなりました。



会場の様子

- 1)開会の挨拶 山形大学長 小山清人
- 2)連携機関挨拶 大日本印刷株式会社研究開発センター長 中西 稔(代理 大野浩平部長)
- 3)報 告 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の中間評価について」  
山形大学男女共同参画推進室 准教授 井上榮子
- 4)講 演 「大学における男女共同参画の推進と広域ネットワークの重要性について」  
岩手大学 理事・副学長、男女共同参画推進室長 菅原悦子 氏
- 5)意 見 交 換 ①「大学コンソーシアムやまがた」における「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」設立の経緯と今年度の活動  
②「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」に期待すること
- 6)閉会の挨拶 山形県立米沢栄養大学長 鈴木道子

### 講演「大学における男女共同参画の推進と広域ネットワークの重要性について」

岩手大学の理事・副学長の菅原悦子氏のご講演では、男女共同参画の取組・成果とともに、「いわて女性研究者支援ネットワーク」・「北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議」の取組についてご報告いただきました。意見交換の場面でも山形のネットワークに対する貴重な助言を賜りました。女性教員比率向上のための女性限定公募、One-up公募(准教授を教授に)、両住まい手当などに加え、「無意識のバイアス」に関するガイドブック作成やレポート制度など、積極的な取組は本学にとって参考になるものでした。また、東北の地域課題を踏まえ、北東北全体を女性研究者が能力を発揮できる地域として創生するための取組の重要性について理解を深めることができました。「無意識のバイアスなど、人事の取組が興味深かった」、「高等教育機関におけるダイバーシティ推進の意義についてよく理解できた」、「東北全体の問題として現状把握ができたので、今後のネットワークづくりに期待したい」などの感想が参加者から寄せられました。



菅原 悦子 氏

### ダイバーシティ事業の中間評価

本学は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」に平成27年度に採択されています。(大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学と連携)。昨年度の中間評価の結果、目標を達成していると認められ、総合評価Aを得ることができました。補助期間は終了しましたが、米沢分室を継続し、3機関が連携して後半の3年間も取組を進め、学内・学外への波及に努めていきます。

### ダイバーシティ推進ネットワーク会議

平成30年4月1日、山形県内の15高等教育機関が連携してダイバーシティの推進を図るため、「大学コンソーシアムやまがた」(県内の大学等高等教育機関が会員)に「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」が設立されました。各機関から委員が選出され、5月23日に第1回ダイバーシティ推進ネットワーク会議を開催しております。活動内容は、ダイバーシティに関する情報共有、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の公開事業への参加、地域連携などです。今年度は、シンポジウム、英語論文セミナー、交換留学、外部資金獲得セミナー、女性研究者研究発表会などの公開事業で、交流を深めていく予定です。

IV JST中間評価結果
<b>総合評価：A</b>
特色あるテーマを掲げ、3機関が連携して女性研究者の活躍促進のための <b>基盤整備</b> 、異分野交流、 <b>研究力強化</b> を進めた。共同実施機関で実践する「 <b>サービスデザイン</b> 」の手法を取り入れ、 <b>女性研究者による工学系分野の産学連携研究を促進</b> し、研究力強化を図る所期の計画を着実に実施し、研究成果の実用化も図っており、また中間評価時点での数値目標も概ね達成して評価できる。
<b>今後に向けての期待</b>
▶ <b>人文・社会科学等幅広い分野における取組の展開</b>
▶ <b>他機関への波及</b>

# 山形大学第2次男女共同参画基本計画のための実態調査

山形大学は、平成21年に男女共同参画推進室を設置し、平成22年に策定した「山形大学男女共同参画基本計画（平成31年度まで）」により、男女共同参画推進委員会を中心に男女共同参画を推進してきました。この間、文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」（平成21～23年度）や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」（平成27～32年度）の採択を経て充実を図ってきたところです。

今回、本学の男女共同参画の現状を把握し、これまでの成果や今後の課題を明らかにするためのアンケート調査を実施しました。調査にご協力いただき、ありがとうございました。結果は、シンポジウムでの報告や男女共同参画基本計画（第2次）の立案等、本学の男女共同参画推進のために活用します。

【期間・方法】 平成30年7月2日～8月8日 WEB調査（無記名）

【アンケート対象】

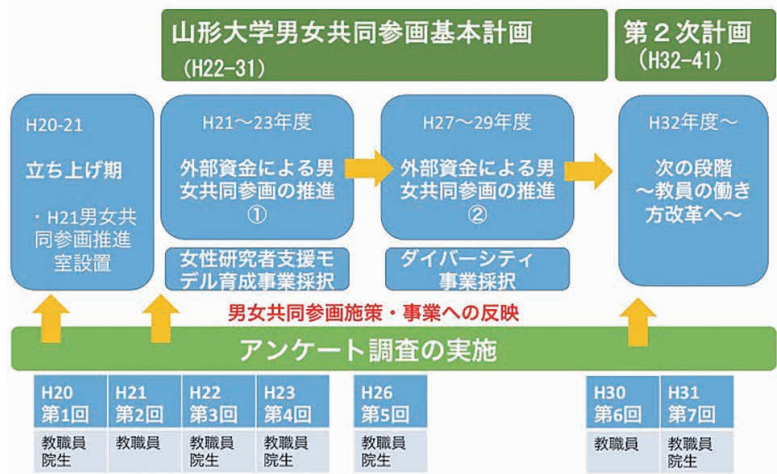
教職員…大学教員、研究員、事務系職員（施設系・図書系を含む）、教室系技術職員・教務職員、技能系職員、医員及び研修医、その他（継続は含む）  
 ＊医療職員（附属病院・保健管理センターの看護師・技師等）、附属学校教職員、大学院生を対象とする調査は、次年度以降に別途行います。

【実態調査のためのワーキンググループ】

今年度の男女共同参画推進委員会（平成30年4月25日）の承認に基づき、男女共同参画委員5名、企画部1名、総務部2名の計8名に調査項目・方法の検討、結果分析、報告書作成などを依頼しています。

◎これまでのアンケート調査の結果（平成22年～26年度）の結果報告は、男女共同参画推進室のホームページで公開していますのでご覧ください。

## I 山形大学の男女共同参画の歩み



## 第1回ランチミーティングを開催

5月25日(金)  
12:15～13:00

新任教職員及び新たな職場に異動された方々を対象に、小白川キャンパスでランチミーティングを開催し、9名の方に参加いただきました。新しい職場の印象や、仕事内容などについて情報交換しました。「様々な立場の方の話が新鮮だった」「新しいネットワークができて良かった」などの感想が寄せられました。推進室からは、「出産、子育て、介護に関するパンフレット」を配布し、男女共同参画推進の取組を紹介しました。

後期に第2回ランチミーティングを開催予定です。また、今年度もキャンパスごとにワーク・ライフ・バランス懇談会を開催します。日頃の思いを率直に話し合う機会にしてください。



ランチミーティングの様子



## 募集中 女性大学院生ネットワーク 山大JOINがスタート!

今年度の男女共同参画推進委員会で、次世代育成・裾野拡大事業として、女性研究者をめざす女性大学院生のネットワークを学内に作り、キャリア形成を支援するとともに、裾野拡大を推進することが承認されました。山形大学女性大学院生ネットワークの略称は「山大JOIN」です。女性院生の仲間・先輩・後輩、そして夢へ「つなく」という期待を込めています。早速、14名が登録し、DNPの交換留学生との交流、男女共同参画セミナーのAAなどの活動を開始しています。11月10日の「女性研究者研究発表会・交流会」(米沢栄養大開催)で、JOINの交流会も予定しています。

登録希望者を随時募集していますので、メールで申し込んで下さい。

なお、登録された名簿は、山形大学個人情報保護規程に基づいて厳正に取扱い、退会時・卒業時に適切に廃棄します。

【申込方法】氏名、所属、学年、Eメールアドレス

【申込先】男女共同参画推進室 チーフコーディネーター 井上 E-mail : y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



## 企業主導型保育所「つぼみ」竣工式

8月8日(水)

山形大学と山形銀行が連携して小白川キャンパスに開設する企業主導型保育所が完成し、8月8日に山形銀行取締役頭取の長谷川氏をお迎えし、竣工式を行いました。保育所「つぼみ」は、産後休暇明けから1歳までの乳幼児を対象(定員10人)とし、定員に余裕がある場合は、地域枠として学生や山形市在住の児童も受け入れます。自園調理を行い、乳幼児の食育に資するとともに、看護師を配置し、保育中に体調不良になった場合も対応し、育児支援を充実します。これまで山形大学が運営してきた大学内保育所「のびのび」(地域枠6名)も、山形銀行の職員も利用できるようになります。両保育所では利用者を募集しています。

【9月1日開所までのスケジュール】

7月19日(木) 「つぼみ」募集開始

8月 8日(水) 10時～11時 竣工式(保育施設視察、テープカット、挨拶、記念撮影)  
14時～15時 内覧会(山形大学・山形銀行の育児休業取得者を対象)

9月 1日(土) 開所 9月 3日(月) 保育開始

【申し込み方法】

ホームページの入所案内をご確認いただき、入所希望の方は下記までお問合せください。

(慣らし保育も必要ですので、入所希望日の2ヶ月前の月末までに申し込みください。)

山形大学男女共同参画推進室 HP <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

TEL 023-623-4937/4938/4939 メール y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



つぼみ外観



テープカットの様子



調理室

## 農学部 荘内銀行内保育施設の利用に関する連携協定締結

平成30年3月16日、山形大学は、本学農学部教職員の「仕事と子育ての両立」を支援するため、荘内銀行内保育施設の利用に関する連携協定を締結しました。協定により、平成30年4月1日より銀行内保育施設を本学農学部の教職員が利用できるようになりました。

## 松浪 容子 先生

山形大学医学系研究科看護学専攻臨床看護学講座 助教

キャリアの語源は「轍<sup>わだち</sup>」。自分が歩んできた轍を振り返ると小学時代にたどり着く。小学校で上杉鷹山の「自助・互助・扶助」の藩政について学習し、将来はそのような精神を大事にしたいと考えた。その思いは今も変わらず、研究テーマにもつながっている。キャリア理論に“キャリアアンカー”（エドガー・H・シャイン）という概念がある。キャリア選択に影響する価値観のことで「船の錨<sup>いかり</sup>」に例えた表現である。「自助・互助・扶助」が私のキャリアアンカーかもしれない。

私は大学時代から生活習慣病に関心があった。臨床経験を経て、禁煙で予防できる病気が特に多いと痛感し、修士課程では心臓病患者の禁煙について研究した。心臓病を機に禁煙できた人と喫煙を続けた人を比較分析した結果、「配偶者あり」・「日常生活における情動的サポートを多く受けている」・「喫煙する家族がいない」が禁煙継続に関連する要因であった。この研究を機に、禁煙の社会的背景について関心を抱き、現在は生活保護受給者の禁煙について研究している。これまでの調査で、生活保護受給者の喫煙率は高く、その多くはタバコ代を負担に感じ、禁煙に関心を持っていることが明らかとなってい

## 「遠くばかり見すぎず今を大事に」

る。以上の成果を踏まえ、禁煙支援プログラムの開発に現在は取り組んでいる。

本業と並行し、NPO法人山形県喫煙問題研究会に所属、社会貢献活動として小中学生に対する喫煙防止教育にも取り組んでいる。喫煙の本質はニコチン依存、喫煙開始しないことが大切、未成年者の教育が必要である。最近では加熱式・電子タバコという新種タバコが販売されている。それらは害が少ないと誤解されているが、従来のタバコ同様に有害性があり依存性もある。若い世代にはタバコを吸わない判断ができる正しい知識と能力を身に付けてほしいと願っている。

“ライフキャリア・レインボー”（ドナルド・E・スーパーライフ）の理論では、キャリアを人生の様々な役割の組み合わせと定義している。看護師、教員、親、そして一市民として、様々な役割経験で私のキャリアは形成されている。子育てやPTAから学ぶことも多く、その経験や人脈が仕事に役立つこともある。ワーク・ライフ・バランスを模索し悩む時期もあったが、様々な折り合いを経験しながら仕事を続けてきた。皆と同じでなくても、自分が納得できるか、継続できるかを追求し、時間のバランスだけではなくON/OFFを意識して精神的健全

を保てるよう心がけている。育児に使えるサービスは公私問わず可能な限り活用した。自分で抱え込まないで助けを求めて声を上げることが社会を変えることにもつながると考えている。

失敗は成功のもと、デメリットは事前に見えやすいがメリットは経験してこそ見える。学生さんには、様々なことにチャレンジしてほしいし、遠くばかりを見すぎず今を大事にし、突然のチャンスを見逃さないでほしい。



小学校での喫煙防止教育

## ～男女共同参画推進室日誌～

- 4月 3日 (前期)研究支援員を配置(18名)
- 4月 5日 米沢キャンパス託児サポーター制度による第1回一時預かりを実施
- 4月13日 男女共同参画推進室会議の開催
- 4月25日 男女共同参画推進委員会の開催
- 5月31日 ライフイベントによる研究中断復帰への研究費支援制度の採択(3件)
- 6月16日 米沢市立図書館で山大LGBTのポスター展示(～6月22日)
- 6月21日 女性代表共同研究支援制度の採択決定(4件)
- 6月29日 第1回ダイバーシティ連携推進会議の開催
- 6月25日 小白川キャンパスで男女共同参画フェスタ(パネル展)の開催(～7月3日)
- 6月27日 DNP主催による第3回自己啓発合宿の開催(～6月28日)
- 7月 9日 米沢キャンパスで男女共同参画フェスタ(パネル展)の開催(～7月17日)
- 7月11日 DNPからの交換留学1日目(工学部訪問、米沢栄養大学訪問、山大JOIN交流)
- 7月12日 DNPからの交換留学2日目(スマート未来ハウス、工学部グリーンマテリアル・センター見学)
- 7月13日 DNPからの交換留学3日目(医学部見学、人文社会科学部訪問、農学部訪問、山大JOIN交流)
- 7月25日 山形大学COIシンポジウム「健康長寿で快適なスマート未来社会の実現を目指して」(ダイバーシティ連携推進会議が共催)
- 7月29日 農学部オープンキャンパス「女性研究者裾野拡大セミナー」
- 8月 4日 小白川キャンパスのオープンキャンパスに「男女共同参画コーナー」開設(人文社会科学部)



女子高校生など  
72名参加

農学部「女性研究者裾野拡大セミナー」

編集後記／7月は男女共同参画アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度からダイバーシティ事業を自主財源で運営することになりましたが、これまでの支援制度を一部見直しながら、ほとんどの事業を継続することができました。「大学コンソーシアムやまがた」のダイバーシティ会議、COIとの連携、山大JOINなど新しいネットワークも広がりました。一方、推進室のスタッフは半減していますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(2018年8月)



## 山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
TEL 023-628-4937/4938/4939  
E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/